



政治に新しい風を吹き込む

大阪維新の会 城東区 市政対策委員

馬場のりゆきとは

#01 辰吉丈一郎さんに憧れ単身大阪へ

何のしがらみにもとらわれず、世界に立ち向かう辰吉丈一郎さんの姿に憧れて福岡県の高校卒業後、カバン一つで大阪へ移り住みボクシングをはじめました。

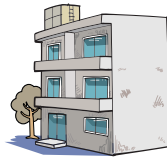
ジムではボクシングの練習よりも礼儀と言葉遣いを徹底的に叩き込まれました。



#02 極貧生活の中で見つけたもの

テレビも冷蔵庫もエアコンもない、ぼろぼろのアパート(ほぼ倉庫)に住み、アルバイトを掛け持ちしながらボクシングに打ち込みプロテストに合格。

しかし、負けることも多くチャンピオンにもなれませんでした。どんなに好きで努力をしても報われないこともある。でも腐らずに次へ進むことこそが大切だということを学びました。



#03 引退、そして主夫となる

何とか日本ランカーになり、結婚。子どもも授かりましたが、網膜剥離によりボクサーを引退しました。

今まで好きなことをしている自分を支えてくれた家族を全力で支えようと考え主夫になり家事から子育てまで精一杯がんばりました。



#04 さまざまな出会いから起業

保育園の役員にも立候補し副会長をつとめ、積極的に保護者の方とも関わってきました。その中で子育ての大変さ、仕事と家庭の両立の難しさなど、お母さんの苦勞を知ることができました。

その後、もっと社会に関わり役に立ちたいと一念発起し、32歳で広告関連会社を起業しました。



#05 政治の道をめざし維新塾へ

起業して社会との関係が濃くなるほど、行政は良い取り組みをしていますが、市民には利用しづらかったり、周知不足だったり、また制度が今の時代とマッチしていなかったり、政治をもっと変えていく必要があると感じるようになりました。

そして維新塾へ入塾。優秀賞を受賞し卒業しました。



#06 決意

極貧生活や負けを経験し人の痛みを知りました。

主夫として子育ての大変さ、シングルマザーの苦勞などがわかりました。

経営者として、人の有り難さ、お金の大切さ、制度の問題点などを経験しました。

私だからできることがある。城東に新しい風を吹き込み、もっと暮らしやすい地域にしたい。

馬場のりゆきの挑戦。

皆様のご支援よろしくお願いたします。

